

2015年5月11日

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

URL <http://www.t-s-r.co.jp>

東京都千代田区岩本町 3-7-4 TSRビル

代表取締役社長 藤田正雄

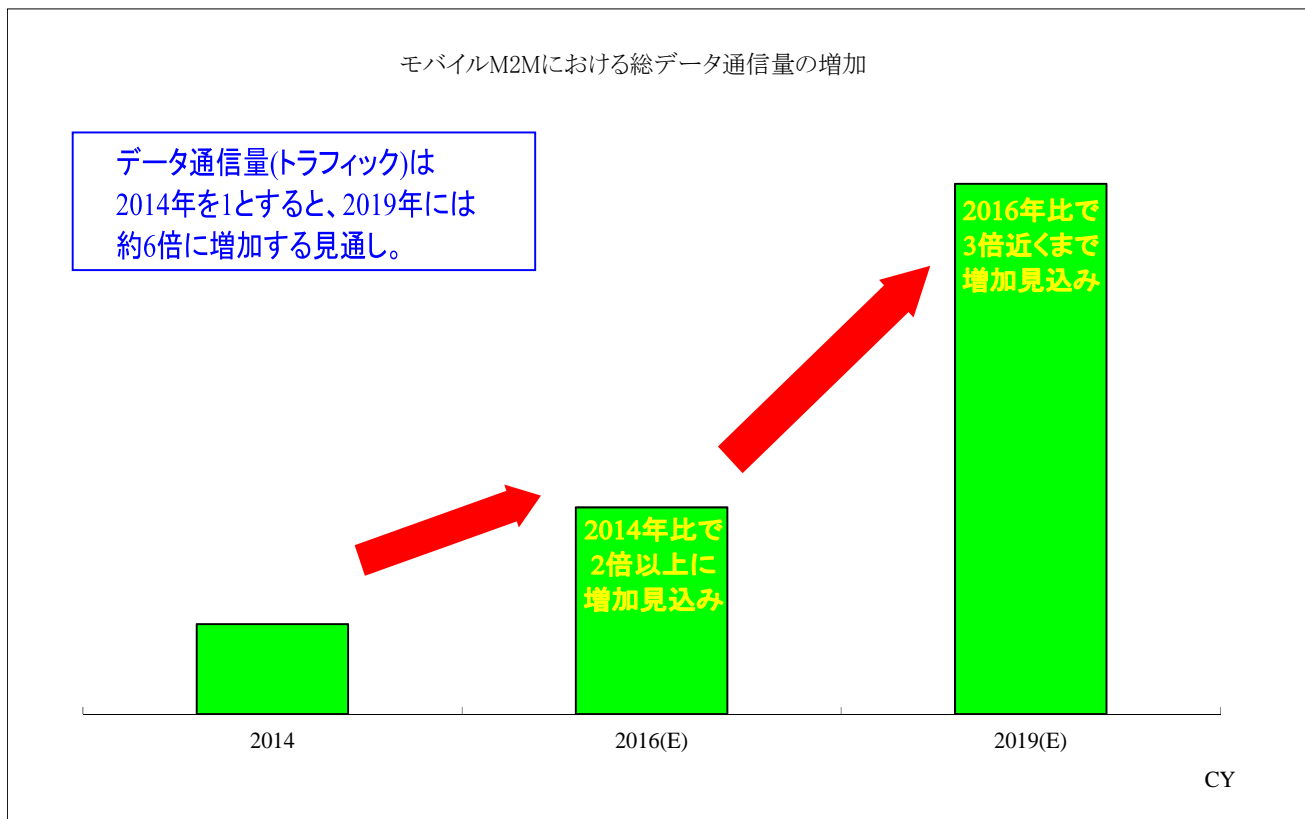
TSR - Press Release

モバイル M2M によるデータトラフィックは 2019 年には 6 倍近くに増加

～ セキュリティ用途、画像伝送、動画配信などの利用でデータ通信量が増加 ～

株式会社テクノ・システム・リサーチは、国内における携帯電話や PHS、WiMAX などのモバイル回線を利用した M2M (Machine to Machine) 市場に関する調査報告書『国内モバイル M2M 市場動向調査 (2014 年版)』シリーズの「第 2 部 データ通信量編」を 4 月中旬に発刊しました (「第 1 部 市場動向編」は 4 月初めに発刊済み)。

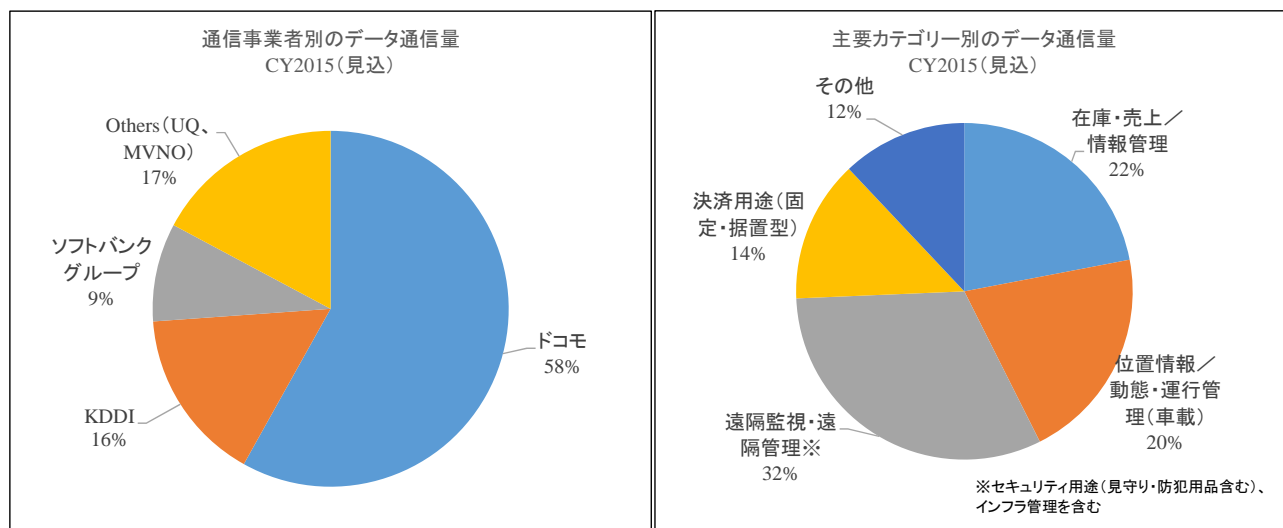
法人向けモバイル M2M 市場におけるデータ通信量 (トラフィック) は、2014 年 12 月の月間データ通信量を 1 とした場合、2016 年 12 月にはその 2 倍以上に増加し、2019 年 12 月には約 6 倍に増加する見通しとなった。



セキュリティカメラなどを含む画像伝送サービスや、デジタルサイネージなどの動画配信サービスといった、データ通信量が多い用途の契約件数が堅調に伸びていくことで、データ通信量全体も伸び

ていく見通しである。特にセキュリティ関連はカメラ以外も含めて、2020年の東京オリンピック開催などを見越して利用が伸びると予測される。

このほか、モバイル回線を利用した WiFi アクセスポイントも増え始めており、1回線あたりのデータ通信量の多い用途で回線が伸びているが、その一方で、データ通信量が極めて少ないスマートメーターが M2M 市場において高いシェアを占めるようになるため、M2M 回線全体で見ただけでは 1回線あたりのデータ通信量は近々ではそれほど伸びないと見られる。



通信事業者別では、契約回線数でも高いシェアを占めている docomo が、画像伝送サービスや決済用途などで多くの利用されており、データ通信量では全体の 6 割近くを占めている。サイネージや監視カメラ等の大容量データ向けに回線を多く提供している WiMAX 系 MVNO を含む MVNO 全体でも高いシェアを占める見通しである。また、ソフトバンクはワイモバイル (PHS) 回線を含めたグループ全体では、2015 年時点では全体の 1 割にも満たないが、利用回線数の増加に伴いデータ通信量も今後は着実に増えていくものと見込まれる。

参考までに、モバイル M2M 市場におけるトラフィックを、総務省が発表した「我が国の移動通信トラフィックの現状 (平成 26 年 12 月)」と比較すると、2014 年 12 月時点ではデータ通信量全体の 0.1% に満たず、その割合は 2012 年以来、年々落ち込んでいることが分かった。

【資料紹介】

『国内モバイル M2M 市場動向調査 (2014 年版)』は「第 1 部市場動向編」と「第 2 部データ通信量編」の 2 部構成の資料となります。

第 1 部と第 2 部は別冊となっており、別々のご購入も可能となっておりますが、第 1 部と第 2 部のセット購入割引も行なっています。また、同資料の姉妹資料となる M2M プラットフォーム市場調査資料を今夏に発刊予定であり、全 3 資料によって国内モバイル M2M 市場全体を俯瞰することが出来るようになっております。

【プレスリリース及び資料のお問い合わせ先】

株式会社テクノ・システム・リサーチ

第 3 グループ 戸波勝徳(tonami@t-s-r.co.jp) TEL:03-3866-4505